

住みよい小山をつくる会 第4回全体会 議事概要

日時：平成18年12月17日（日） 午後7時～9時

会場：小山公民館 大会議室

1 アンケート結果報告

ワーキングメンバーから、アンケート結果について以下の報告が行われたのち、基地跡地利用のコンセプト案の提案がされた。

<質問と回答>

- ・アンケートの回収率は？

アンケートの配布は自治会回覧にえて公共施設や公民館まつりでもアンケート用紙を配布したので、正確な回収率を出すことはできないが、自治会回覧での回収率は3割ぐらいと見ている。

- ・回答が多い順に意見として要望していくのか。

アンケート結果で多かった回答が、そのまま意見書になるわけではない。結果のデータを分析し意味づけ、つくる会として意見書をまとめる参考情報とすることになっている。

- ・コンセプト案の提案をうけて、ここでは施設の具体的内容や規模などを検討することでもいいのか？

まず、提案されたコンセプトを検討し、そのうえで施設の具体的なことを議論する。

2 コンセプト案の検討

<参加者の発言の概要>

- ・コンセプト案では緑についての記述が一番下になっているが、アンケートの結果は、15haも35haも公園・緑が圧倒的に多いので、もっと重視した書き方にしてほしい。

- ・15haはスポーツ、文化施設をメインにする。

- ・市全体としての視点も必要だが、小山地域に跡地があることを尊重してほしい。

- ・15haは子どもから高齢者まで使える公園がいい。35haにつくるのは無理だと思う。

- ・アンケート回答の結果通りでよい。公園、緑を中心にする。

- ・15haは施設、建物がいい。施設は高齢者や障害者が使いやすいように配慮してほしい。障害者が働けるような部分が入るといい。35haはものものしい形にならない工夫を。

- ・ハコモノは好きではないが、市役所が老朽化しているので、建て替えるならこの15haが最適だ。さらに、障害者などが使える施設、駐輪場や駐車場も十分にとれる。小山地域には近くに高校がなく、橋本や田名に通っている。地元から通える県立高校はできないか。

- ・返還部分は市の施設を。合併で市が拡大し、遠くの人にとって集まりやすいところにつくる必要がある。共同使用部分は整地してスポーツができる程度の整備をしておく。

- ・公園、緑が多いのは橋本駅前のようにしてほしいという要望だと思う。文化施設、体育施設の要望も多いので、公園を主にして文化・体育を兼ね備えた施設にして、その中に公民館や図書館を入れる。

- ・共同使用部分は具体的な施設はできないと思うが、日陰をつくる意味で樹木を植える程度ことは要望したい。15haは市役所、多目的ホールなどの公共施設。商業施設も考えられるが、駅ビルをつくってもテナントがだんだんと減っていることと、隣に橋本があるので、現状では商業施設は難しい。小田急が延伸してくれば、商業施設のきっかけになるかもしれない。

- ・共同使用部分は提案どおりでいい。15haは提案の2つ目の一番下に緑や公園とあるが、小鳥が集まるぐらいのまとまった緑がないとさみしい。また、10年後を考えると介護施設がほしい。

- ・小山だけでなく周辺地域も含めて公園らしい公園がない。15haの3分の1ぐらいを中規模

な公園にしたい。提案の一番下に緑や公園とあるが、最初の前文に市民が憩える緑や公園を配置すると入れる。

- ・コンセプト案に問題はない。有償、無償の問題が一番大きいので、そこに力点を入れて要望する。
- ・跡地利用に関する基本的考え方を前文に書く。緑や公園に配慮した市役所をつくと最初に謳う必要がある。
- ・コンセプト案はこれでいい。公民館は小山の要望として当然。町田から来る幹線道路がないので、幹線道路をつくることを踏まえた利用を考える。
- ・コンセプト案としてはこれでいい。相模原は政令指定都市になる可能性もあるのに、このまま駅から離れたところに市役所があるようではどうしようもない。相模大野と橋本が商業の中心とすれば、15haに市役所をもってきて相模原の行政の中心とする。35haは小山の畑が強制買収されたところ。ここは小山地域の要望を生かし、かつ市全体の視点で、地域のちょっとした集まりやパーティができるようにしたい。

< 補足意見 >

- ・15haには合併した市のヘソになるような行政機関を建てる。商業施設は南側と競合しないもので、たとえば世界の料理店などを入れる。補給廠の人たちと地元の住民が一緒になって、イベントなどを開きまず使って実績をつくる。たとえば凧上げ大会など。
- ・公園に行くというと相模原公園ぐらいしかない。近くにまとまった公園がない。高齢者がブラッと行ける公園が必要。
- ・駅前の道路混雑がひどくなっているので、その対応をしっかりと考える。
- ・横浜線沿いに矢部まで道路を通すという案はあるが、南北道路がない。市役所が来たときはアクセスのための道路は当然必要になるので、その中で考えればいい。
- ・南北の連絡道路は必要だが、横浜線の立体交差をしないといけない。そこまで要望する必要はない。他の地域からのアクセスに配慮する程度に書く。
- ・15haは駅前の一等地。市も方向性のなかで、公益的かつ商業的拠点にするといっている。3分の1は商業施設で、橋本や古淵など他の地域と競合しないような施設をデベロッパーなどに提案させる。3分の2は公園と市役所、公民館などの公共施設とする。今の市役所は5,000坪ぐらいだが、高層化すれば十分に間に合う。市役所が来ないときは体育館と多目的ホールで文化施設を入れる。公園は最低でも3分の1は確保する。
- ・15haに市の中心となる施設をつくる。その一方で、小山地域の地元が使える公民館、福祉施設を確保する。
- ・橋本のように公民館を駅ビルに入れることも考えられる。
- ・多目的ホールの1、2階を公民館にする。
- ・普段着で気軽に行ける公民館にしてほしい。橋本の公民館は普段着で行きにくい。公民館まつりの時などに模擬店が出せなくなるとは困る。
- ・駅前に高層ビルがばんばん建って青空が切れ切れにしか見えないようになったら、この駅前の良さがなくなる。施設で埋める視点だけでなく、他にはないこういう空間があることの良さを残したい。
- ・ジョギングコースがあり、ライブなどのイベントができる広場がある囲いのないオープンスペースにしてほしい。若者が騒いだりすることもあるが、地域できちんと管理していく。
- ・要望はいろいろ出てくるが、お金の問題がある。公園が3分の1、市の施設が3分の1で、残る3分の1を資金調達のために民間に売却するという考え方もできる。小田急が来れば、不動産価値も上がるのでデベロッパーにも魅力がある。
- ・小田急の延伸と絡めた施設と、14、15階の高層の公共施設をつくる。

提案された跡地利用コンセプト案を基本的に了承し、緑・公園の配置を優先させて提案の太字部分に入れることと、他の地域からのアクセスに配慮する旨についても、何らかの形で入れ

ることとする。

3 今後の進め方の検討

この全体会でコンセプト案を決定したのを受けて、次の企画会議で施設の配置や規模などを図や文字で表現した具体案を検討しまとめて、次の全体会に提案する。次回企画会議は1月中旬にする。

4 意見交換・情報交換

- ・アンケートの回収が悪い。盛り上がり策を検討する。
- ・チラシだけでは盛り上がりは難しい。自治会の中で小さな単位で説明会を開くなど盛り上げを図る。
- ・自治会に入っていない人は基地が返還されることも、アンケートをしたこともほとんど知らない人が多い。1,600人以上も回答したのはすごいが、そのアンケート結果報告がA4で1枚だけでは、PRとして盛り上げに欠けないのか。
PRについて、小田急と連携して、基地返還を周知する広報、宣伝を行うことを検討している。

跡地利用のPRについて小田急の協力を呼びかけることとする。

- ・15haの無償返還を地元としてもっと後押ししたい。
- ・議員、市長に地元の思い、声を伝える。企画会議で調整して市長に会って伝える。地元として市長をバックアップしたい。
- ・今後の進め方に関連して、コンセプト案の具体案を自治会などを通して地元フィードバックし、さらに地元の意見を取る必要がある。
- ・若い人の意見も聞きたい。身近な人に声をかける。
- ・意見書案を自治会員に配布したい。企画会議で検討する。

コンセプト案の具体案を地元に戻して、地元の意見をさらに募ることについて、企画会議で検討する。